



平成28年度茨木市全域防災訓練 (シェイクアウト訓練) 実施結果 【写真】

平成29年3月1日(水)
総務部危機管理課

平成28年度 茨木市全域防災訓練

- ①シェイクアウト訓練
- ②情報伝達訓練
- ③地域・企業・団体独自の防災訓練
- ④物資搬送訓練(大阪府と連携)
- ⑤災害ボランティアセンター運営
シミュレーション訓練
- ⑥その他関係機関と連携した訓練
(要配慮者受け入れ訓練)
- ⑦職員訓練(震災避難誘導訓練)
- ⑧災害対策部別訓練
- ⑨防災イベント
- ⑩防災啓発、震災給食
- ⑪防災ランチ



その場でできる防災訓練

茨木市全域 シェイクアウト 訓練



一年に一度、みんなで
命を守るトレーニング

訓練当日には、午前11時ごろから市内すべての屋外スピーカーで、
地震がおきたと考えると訓練開始の放送を行います。

日時 平成29年 1月17日 [火曜日]

場所 それぞれの家・学校・職場など

緊急連絡メール
(エリアメール)は
午前11時03分ごろ
に発信する予定です

地震がおきた時、あなたを守る3つの動き

訓練の流れ

ステップ1
11時00分
屋外スピーカーから訓練の合図！
シェイクアウト訓練の開始(姿勢を低く、頭を守って、動かない。)

ステップ2
11時03分頃
緊急連絡メール・エリアメールが受信！
茨木市域にある携帯電話はマナーモードにしていても着信音があります。音を鳴らしたくない場合は事前に電源を切るようお願いいたします。

三響儀の放送をもって、市の訓練は終わります。

シェイクアウト訓練とは？

「姿勢を低く、頭を守って、動かない」という身を守るための基本的な動きを、家・学校・職場などでどこでも、誰でも同時にできる訓練です。



まず低く



頭を守り



動かない

お願いします! 参加費無料ですが、詳しくは裏面に書いてあります。
参加登録にご協力ください

主 催：茨木市 問合せ：総務部危機管理課 ☎072-620-1617 茨木市シェイクアウト訓練 協賛

詳しい訓練内容は裏面または茨木市ホームページ <http://www.city.ibaraki.osaka.jp/> 

①シェイクアウト訓練

シェイクアウト訓練とは



- 2008年にアメリカで始まった防災訓練です。

「地震なんて吹き飛ばせ！」という意味で、地震が起きたときを想定（※今回のキッカケはサイレンです。）して、取るべき3つの行動を取ります。

①まず低く

②頭を守り

③動かない

(※サイレンが鳴り止むまで)



- 地震が起こった時に、とっさに身の安全を確保する行動がとれるように、「練習」する機会だと思ってください。

参加登録団体

シェイクアウト訓練参加登録数



●参加登録数

227団体 53,944人

2017.01.17 am 11:00 START
茨木市シェイクアウト
認定番号 290001号



組織名	登録数	人数
自主防災会、自治会	22	7,287
企業	43	3,821
その他団体	34	3,145
大学、高等学校	8	5,427
幼稚園、小学校、中学校	67	29,139
保育所（園）	32	4,675
支援学校	1	420
個人	20	30

シェイクアウト訓練（写真）

市内いっせいに身を守る行動訓練を実施しました。

地震発生
午前11時



市役所



茨木小学校



イオンモール茨木



大栄産業(株)



パンタダシ

②情報伝達訓練

11:00サイレン放送



●内容

市内の屋外スピーカーによるサイレン・訓練放送を実施しました。
(市内80か所に設置済み)

●時間 11:00~11:01 (約1分間)

●放送内容

ピンポンパンポン (上りチャイム)

※ { 「こちらは茨木市です。」
「ただ今から、全域防災訓練を始めます。」
「サイレンの音に合わせて身を守る行動を取ってください。」

※×2回

サイレン (15秒)

「以上で、訓練放送を終わります。」

♪ピンポンパンポン (下りチャイム)

②情報伝達訓練

11:03エリアメール配信

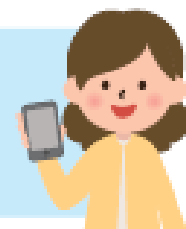


●内容

茨木市域にある携帯端末にエリアメール（緊急速報メール）を配信しました。（マナーモードにしても着信がなります。音を鳴らしたくない場合は、事前に電源を切るようポスター、チラシなどで事前周知をしました。）

●時間 11:03

※着信の確認をもって、市の訓練は終わります。



②情報伝達訓練

エリアメール着信画面（写真：ドコモ）

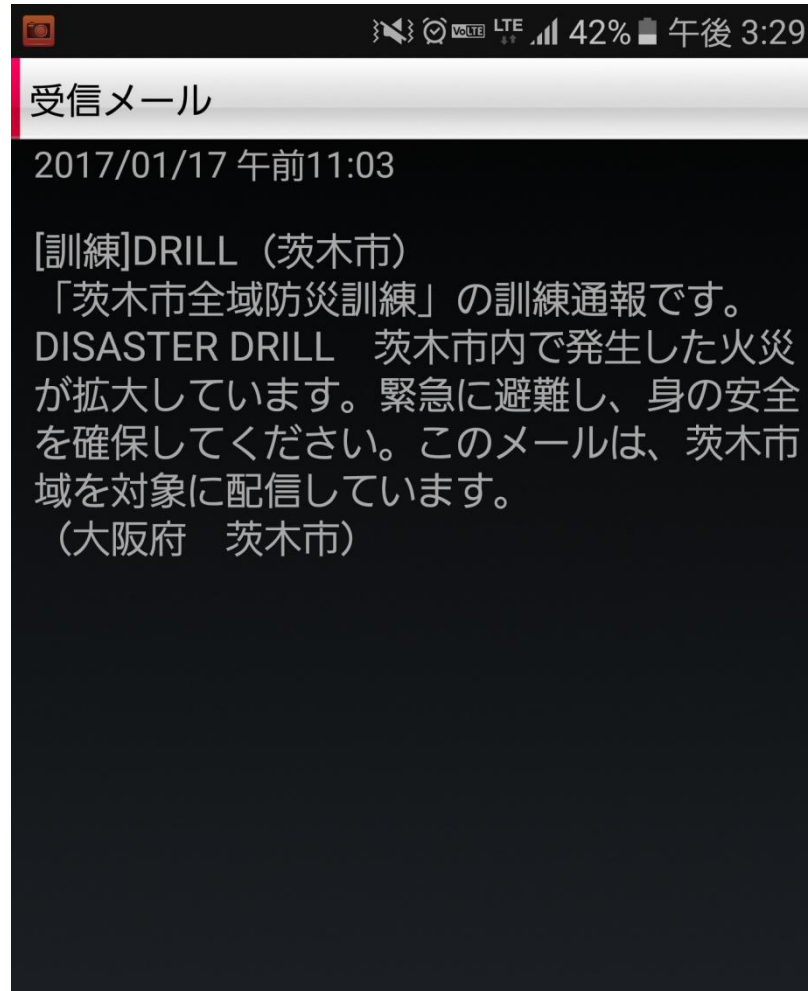
●受信メール

2017/01/17 午前11:03

【訓練】DRILL（茨木市）

「茨木市全域防災訓練」の訓練通報です。DISASTER DRILL 茨木市内で発生した火災が拡大しています。緊急に避難し、身の安全を確保してください。このメールは、茨木市域を対象に配信しています。

（大阪府 茨木市）



プラスワン訓練

プラスワン訓練を推奨

●内容

地震がおきた時、身のまわりのものでけがをするかもしれません。エリアメール（緊急速報メール）をきっかけにした避難訓練や備蓄品の確認など、自主的なプラスワン訓練の実施を推奨しました。

あなたの身の回りは安全ですか？

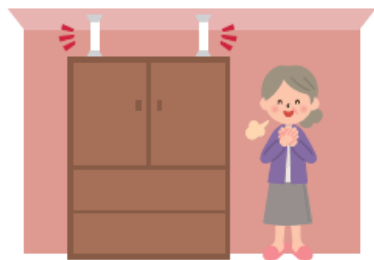
地震がおきた時、身のまわりのものでけがをするかもしれません。あなたの備えはできていますか？確認してみましょう。

「うごくかも」



耐震粘着マットなどで動くものをとめる

「たおれるかも」



ポールやL字金具等で家具をとめる

「とぶかも」



開き扉が開かない様に、耐震ロック等でとめる

「おちるかも」



部屋の明かりなど、落ちそうなものを補強する

「われるかも」



窓ガラスに飛散防止フィルムをはる

プラスワン訓練

プラスワン訓練実施状況

(参加登録申請時点)



●参加登録団体 227 団体

2017.01.17 am 11:00 START
茨木市シェイクアウト
認定番号 290001 号



The Great Japan
ShakeOut
[日本公式]シェイクアウト

組織名	団体	個人	合計
避難訓練	86	4	90
備蓄品の点検	50	11	61
防災学習	50	2	52
初期消火訓練	32	1	33
避難所確認	44	4	48
家具などの転倒防止策・配置 等の確認	45	8	53
その他	19	0	19

③地域独自の防災訓練

自主防災会が主体となって独自の防災訓練が実施されました。

茨木地区自主防災会 参加人数：398人

茨木小学校、茨木幼稚園、認定こども園たちばな保育園、中央保育所が連携して防災訓練を実施しました。

玉島地区自主防災会 参加人数：299人

自治会を中心とした避難訓練等を実施しました。

穂積校区自主防災会 参加人数：1,000人以上

松ヶ本認定こども園、穂積小学校、イオンモール茨木が連携して防災訓練を実施しました。



③地域独自の防災訓練

茨木地区自主防災会

茨木小学校、茨木幼稚園、たちばな保育園、中央保育所が連携して防災訓練を実施しました。（場所：市立茨木小学校）



シェイクアウト訓練
(茨木地区自主防災会役員)



認定こども園たちばな保育園



茨木小学校児童（全学年）



福岡市長からの講評

③地域独自の防災訓練

茨木地区自主防災会



災害救助犬の実演
(認定NPO法人日本レスキュー協会)



煙体験訓練 (火災時の避難訓練)



搬送訓練 (応急担架の作成方法)



初期消火訓練 (訓練用消火器を使用した消火訓練)

③地域独自の防災訓練

穂積校区自主防災会

松ヶ本認定こども園、穂積小学校、イオンモール茨木が連携して防災訓練を実施しました。（場所：イオンモール茨木）



シェイクアウト訓練



救命訓練



消火訓練



地震体験車の乗車

僕も地震体験
したよ♪



③企業・団体による防災訓練

大栄産業株式会社

シェイクアウト訓練



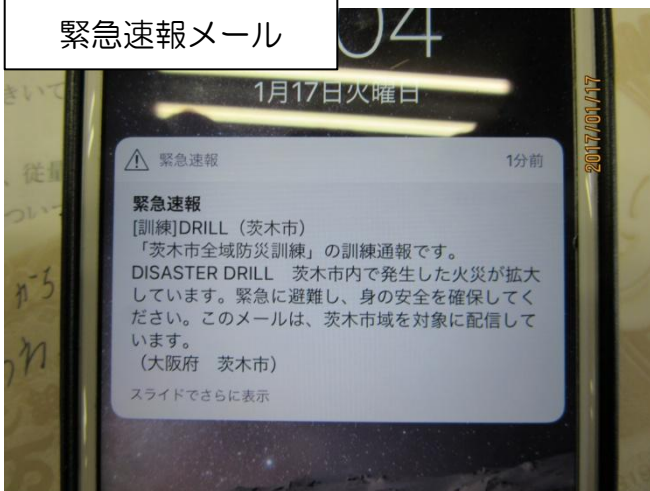
訓練内容

シェイクアウト訓練
緊急速報メール受信

プラスワン訓練

製造設備緊急停止訓練
防消火散水訓練

緊急速報メール



プラスワン訓練



④物資搬送訓練（大阪府と連携）

【実施機関】市危機管理課、大阪府危機管理室、大阪府茨木土木事務所
大阪府トラック協会

災害対応能力向上と、府及び府内市町村との連携強化を図ることを目的に物資搬送訓練を実施しました。

緊急物資輸送車両



物資集積所にて受取り



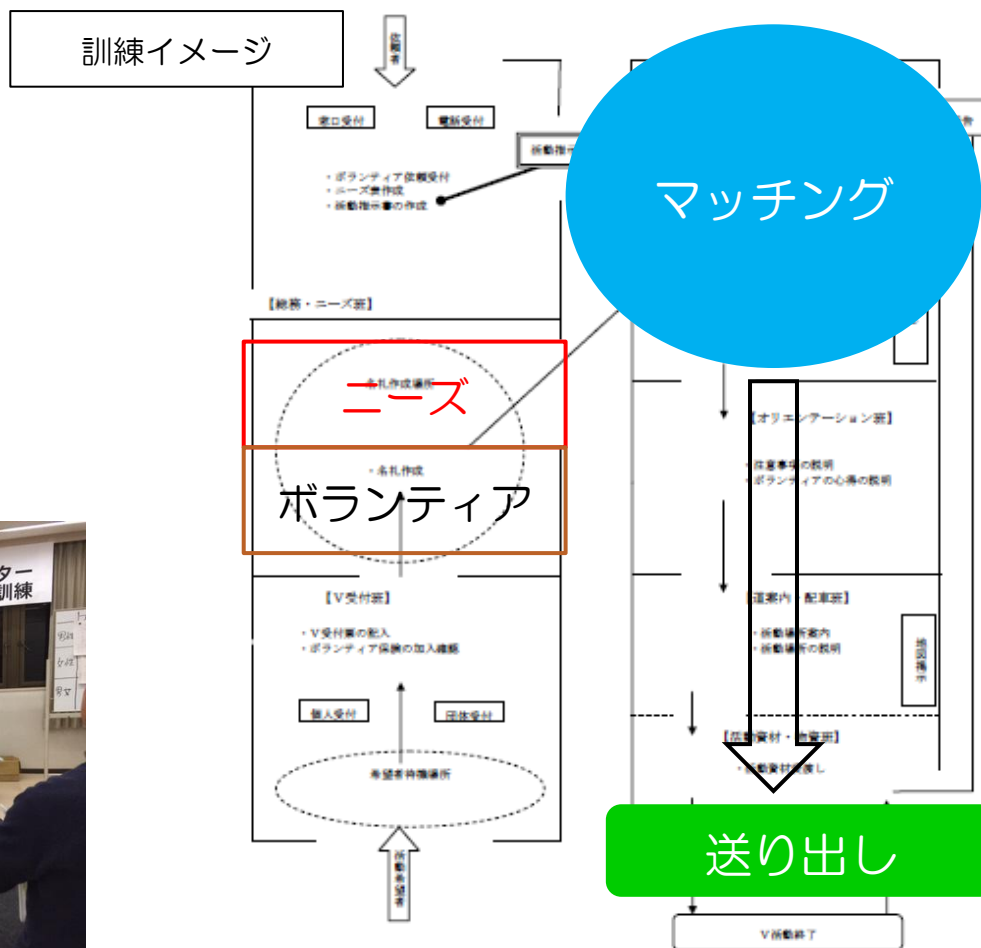
搬送ルート図



⑤災害ボランティアセンター運営シミュレーション訓練

【実施機関】 社会福祉協議会 【参加人数】 68人

災害ボランティアセンターの設置運営についてのシミュレーション訓練を実施しました。



⑥要配慮者受け入れ訓練

【実施機関】 市障害福祉課、介護保険課
 障害福祉、介護保険サービス事業所 7事業所

福祉避難施設である高齢者・障害福祉サービス事業所と連携した情報伝達訓練を実施しました。

茨木市高齢者サービス事業所連絡会

介護老人保健施設 清溪苑

いっぴく

特別養護老人ホーム 常清の里

特別養護老人ホーム春日丘荘「彩の家」

介護老人保健施設めぐみ

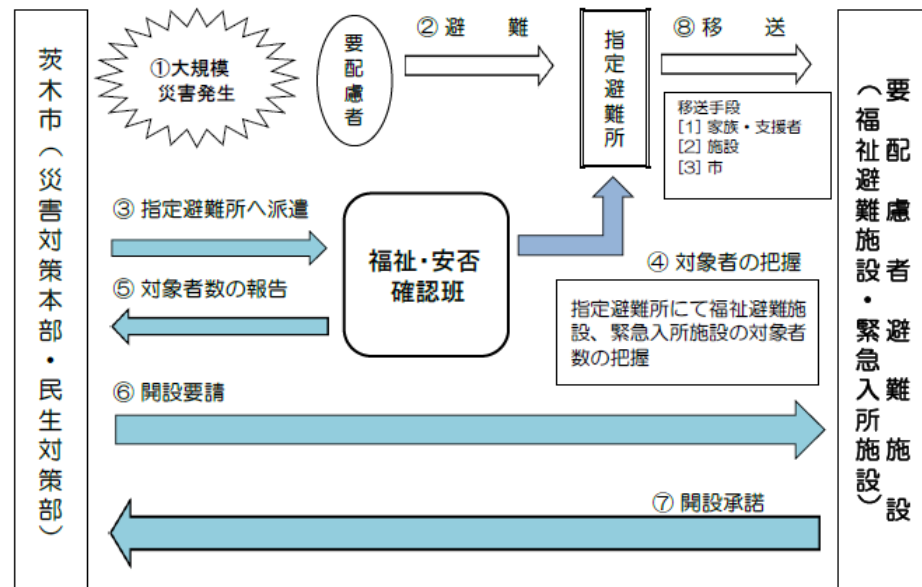
そんぽの家 茨木東奈良

茨木市障害福祉サービス事業所連絡会

障がい者サポートセンターしみず

訓練イメージ

開設までのフロー



要配慮者避難施設設置運営マニュアルより

⑦職員訓練（震災避難誘導訓練）

【実施機関】市総務課 77人、市消防本部 8人
庁舎内での災害発生に、職員が迅速かつ正確に対応できるように初期消火や避難誘導、救出救助訓練等を実施しました。

通報訓練



避難誘導訓練



消火訓練



消火訓練



救命訓練



救出救助訓練



⑧災害対策部別訓練

災害対策部別の訓練を実施しました。

- (1) 総務対策部
- (2) 給水対策部
- (3) 消防対策部

(1) 総務対策部

全職員を対象とした安否確認訓練を実施しました。

職員安否確認表

対策部名 ○○対策部

所属部課名 ○○○部 ○○○○課

1月 17日 時現在

No.	職員番号	職員氏名	安否情報			参集状況		
			無事:○ 負傷等:× 未確認:△			参集済:◎ 未参集(可:○ 不可:× 未確認:△)		
			本人	家族	確認日時	参集済	未参集	確認日時
1	0000000	○○ ○○	○	△	1/17 11:40	◎		1/17 11:40
2	1111111	△△ △△	○	△	1/17 11:40	◎		1/17 11:40
3	2222222	□□ □□	△	△			△	

⑧災害対策部別訓練

(2) 給水対策部

地震により市内数箇所において断水が発生したと想定し、上穂積公園耐震性貯水槽及びやまぶき高区配水池において応急給水訓練を実施しました。

上穂積公園耐震性貯水槽における応急給水訓練

耐震性貯水槽の蓋をあけている様子



水を汲み出すポンプを接続している様子



給水装置器具を設置する様子



やまぶき高区配水池における応急給水訓練

給水タンク車に給水する様子



給水装置器具を設置する様子



ポリタンクに給水している様子



⑧災害対策部別訓練

(3) 消防対策部

自然水利（弁天上池）を活用した長距離中継送水訓練及びイオンモール茨木にて地震による火災対応消火・救助訓練を実施しました。

長距離中継送水訓練①



長距離中継送水訓練②



長距離中継送水訓練③



消火・救助訓練①



消火・救助訓練②



消火・救助訓練③



⑨防災イベント(イオンモール茨木)

防災イベント2017 イザ!ぼうさい体験!

イオンモール茨木にて市と地域、防災関係機関(NTT西日本など)が連携し、防災イベント(防災体験や防災講演会等)を実施しました。

【JR広場】

- ・ゆるキャラと一緒にシェイクアウト訓練
- ・地震体験や災害伝言ダイヤル体験など各種防災体験プログラム
- ・災害救助犬の実演やふれあい

【JR側ウェルカムプラザ】

- ・つくろう!自分だけの非常用持ち出し袋!

【ジョイプラザ】

女性や子どものための防災講演などを開催

・講師

(社) SMART SURVIVOR PROJECT 特別講師

掃部(かもん)まゆさん

阪神救助犬協会代表

相良 順子さん

フリーパーソナリティー

近藤 幹子さん

自主防災組織連絡会代表幹事

水野 保夫さん

・コーディネーター

嘶家

てんご堂 雅落さん

Let's
BOSAI



ゆるキャラとシェイクアウト!



⑨防災イベント(イオンモール茨木)

防災イベント2017 イザ!ぼうさい体験! 【防災体験コーナー】

いっせいにシェイクアウト訓練



災害救助犬の実演



災害救助犬とセラピードッグとのふれあい



地震体験コーナー



災害伝言ダイヤル体験コーナー



炊き出し配布(豚汁・アルファ化米)



⑨防災イベント(イオンモール茨木)

防災イベント2017 イザ!ぼうさい体験! 【防災体験コーナー】

消火体験コーナー



救命訓練コーナー



パチリコーナー



地震



土砂災害

浸水



⑨防災イベント(イオンモール茨木)

防災イベント2017 イザ!ぼうさい体験! 【つくろう!自分だけの非常用持ち出し袋】



この防災体験コーナーは、立命館大学の学生が結成している防災共育サークル「アトレ」が企画したもので、無印良品(イオンモール茨木)の協力をいただき実施しました。無地のコットン製バッグに好きな絵を描いて、自分だけのオリジナル非常用持ち出し袋を作成し、そのまま自宅に持ち帰ってもらいました。



非常用持出品のスタンプもたくさん用意しました。



⑨防災イベント(イオンモール茨木)

防災イベント2017 イザ!ぼうさい体験!
【防災講演・パネルディスカッション】

みんなが主役の防災まちづくり

～色んな世代で取り組む防災・減災活動～

「地域の自治会、自主防災会等だけでなく、子育て世代や女性、児童・生徒など、幅広い世代が一緒になった地域の防災活動を考える」をテーマに実施しました。



⑩防災啓発、震災給食

防災についての知識及び意識の向上を目的に防災ハンドブック等を配布しました。また、各小学校において、災害が起こった時に避難所などで食べられた食事をもとにした献立での給食を行いました。

- ・防災ハンドブック 46,498冊を配布
(対象：市内保育所（園）、幼稚園、小・中学校、高等学校)



- ・啓発用オリジナルものさし 16,800本を配布
(対象：市内全小学校、茨木支援学校小学生)



- ・震災給食：おにぎり、豚汁、乾パン、牛乳
(対象：市内全小学校)



⑪防災ランチ

【実施機関】危機管理課、保健医療課
茨木スカイレストラン

高校生が考えた防災メニュー！

1月17日限定で茨木スカイレストランにて提供しました！

防災メニュー

DATE: 1.17

保存食の乾パンを水でふやかして料理に使用しました。

避難生活が長引くと乾パンを毎日食べ続けることになる。これは災害時の課題。

お湯か水を注ぐだけで煮炊きせずにご飯が食べられます。

お湯を沸かすことができない冷たいご飯だから、お湯を注ぐだけで食べられるのがいい。味も濃い方がいい。

味増にだしと具材を混ぜて丸めて団子にしたものでお湯を注ぐだけでいつでも美味しい味噌汁を飲むことができます。

乾燥に強い切干大根は切干大根をサラダにし、乾燥物は栄養満点、長期保存でできるカレー風味で食欲増進の効果もありました。災害時の食料として16年ぶりにしています。

お湯を注ぐだけで食べられる防災メニュー

災害時 海外旅行 長期保存可能 60分 20分

安心米 わかめごはん

アルファ化米



※1月18日読売新聞 掲載記事抜粋

茨木市役所南館9階茨木スカイレストランにて、防災をテーマにしたメニューをこの日100食限定で提供しました。メニューは府立茨木高等学校で食を学ぶ家庭部の生徒が、備蓄食料を利用又は活用した献立を検討し、茨木スカイレストランと連携し実施しました。（当日100食完売）